

# 光葉同窓会メールマガジン

<2026年6月号>

228号 2026.06.01 配信

学園の若葉はより深い緑色になり、あじさいは色とりどりの美しい花を咲かせ、梅雨の訪れを感じる季節となりました。予報では梅雨前線が活発で大雨が続き、気温も高く蒸し暑い日が多いとのこと、体調管理に留意してまいりましょう。

今月は幹事会、各支部会の開催が予定されています。皆様との絆を大切に、楽しいひと時を過ごしたいと思います。  
(常任委員 小藺江 園香)



## ■同窓会だより

### ◇全国支部長会を開催 5月16日(土)第1部13:00~15:30 第2部16:00~18:00

昭和女子大学8号館グローバルラウンジに47名の支部長が集いました。

第1部の支部長会は、山本晶子副学長にご挨拶をいただき、松田忍アドミッション部長から大学入試状況、加納輝尚キャリア支援部長からは就職動向の説明を受けました。新支部長7名の紹介と挨拶に引き続き、支部長研修では、高齢化に伴う今後の支部運営の問題点や課題を話し合い、アンケートにまとめました=写真右。



第2部の懇親会は学園本部館中会議室に移動し、坂東眞理子総長、椿広計理事長にご挨拶をいただきました。親睦を深め、楽しい時間になりました=写真左①。

### ◇第53回光葉同窓会総会を開催 5月17日(日)第1部11:00~12:00 第2部12:40~14:00

昭和女子大学学園本部館大会議室に来賓・奨学金贈呈の学生を含み135名が参加しました。

第1部の総会では、石川京子会長の挨拶後に議長を選出し、活動報告及び決算報告、監査報告、活動計画案及び予算案がすべて承認されました。坂東眞理子総長にご挨拶をいただき、石川京子会長より総合情報学部設立記念として寄付金の贈呈がなされました=写真左②。支部設立50年の埼玉県支部表彰、奨学金「親子二代賞」の贈呈を行いました。



第2部の懇親会では、椿広計理事長、金尾朗学長、江口雄輔先生にご挨拶をいただき、昼食と歓談、アカペラサークル学生によるミニコンサートを楽しましました。最後に「光葉によせて」を斉唱して閉会しました。

### ◇支部会の開催

- ・6月6日(土): 山口県支部会・6月7日(日): 沖縄県支部会・秋田県支部会・島根県支部会
- ・6月14日(日): 香川県支部会・岩手県支部会・千葉県支部会・群馬県支部会
- ・6月21日(日): 徳島県支部会・栃木県支部会
- ・6月27日(土): 東京都北東7区支部会・東京都東南7区支部会・大分県支部会
- ・6月28日(日): 宮城県支部会・山梨県支部会・大阪府支部会

◇2026年度幹事会のご案内 6月20日(土) 13:00~15:00 学園本部館3階大会議室

学年幹事の皆様に、はがきでお知らせしています。ぜひご出席ください。

◇お問い合わせ：光葉同窓会事務局 03-3421-7713 [✉dousoukai@swu.ac.jp](mailto:dousoukai@swu.ac.jp)

10:45~16:15 (土・日・祝日除く)

## ■広げよう光の葉



塚本 徳子さん

1975年 国文学科卒

### 「定年後の新たなフェイズ」に身を置くこと

卒業後、就職をした会社を定年・再雇用を経て2019年6月に完全退職し、「仕事中心だった日々から暮らしに目を向けた生き方に」が新たなフェイズとなった。

そんなある日届いた「昭和女子大学光葉同窓会」の封書。当時の比護和子会長名での「新支部設立」の案内と協力の内容だった。「説明会」の参加を募るものに「たまには大学に行くのも良いか」と気軽な考えで参加した。これが「新たなフェイズ」の第1章になった。



「新支部設立準備委員会」対象地区7区(足立区・荒川区・江戸川区・葛飾区・北区・墨田区・台東区)の同窓生は2700余名である。有志として手を挙げた11名で6ヶ月間、怒涛の新支部設立に向けての準備を進めることになった。暑い夏の日に始めた準備で「新支部設立総会」は2020年2月16日と決まった。この時期は「コロナ感染症」の「入口」だった。戦々恐々とした中で「東京都北東7区支部」は、東京都の支部の6番目として誕生した。役員となったメンバーの仕事の速さは圧倒的で、「会則」「会計管理」等、当日の式次第のパワポ・台本まで12月の声を聞く前に出来上がっていた。感服然り。担当役割決めて出遅れて、支部長となってしまったが、支部長である自分の仕事としては、出来上がった資料の最終確認を同窓会本部と行った。また以下の3点について、役員となったメンバーにお願いした。

- ① 「家族」「家庭」「仕事」を優先して、お互い出来る時に出来る事をする。
- ② 支部長は、同窓会本部や他支部の情報交換と収集を行い役員と共有する。
- ③ 決定すべき事項があるときは、役員に必ず相談し意見交換後決定する。

設立まで、そして設立後の現在に至るまで、同窓会本部の皆様、都内・近隣支部の皆様から、深い愛情とご支援を頂き、活動を軌道に乗せる事が出来た。「感謝」という一言では追いつかないほどだ。「同窓生」というただそれだけで、初対面でも「本音」や「冗談」が飛び出し、学生時代の思い出に共感して笑って、ただただ無防備で温かく、高いハードルも理屈もない。是非この感触をどちらの支部でも良いので体感していただけると嬉しい。

支部長も任期満了となり後任者に引継いだ。新支部長の目標は、「支部総会に気軽に参加してもらい、楽しいを広め会員を増やしていく」ということで、明確で頼もしい限りだ。

私の新たな活動が始まった。「新たなフェイズ」の第2章である。ご近所の方々とよく会話をし、近所情報通となり「ボランティア活動」への参加や、勤めた会社のOB・OG会から「幹事」任命の連絡をもらった(了解した覚えなし)。「声がかかるうちが花」と思い「出来る時に出来る事を」と気負わず続けている。友人たちとの好きな音楽鑑賞や美術館通いは欠かさない。支部設立時に始めたパソコン教室通いも続いている。愛犬との朝の散歩に始まる日常は健康そのものである。

これからの新しい出会いと、未知との遭遇が楽しみな日々だ。【End】